



ニュースリリース
2020年7月29日(水)
松竹株式会社

第23回上海国際映画祭で「松竹100周年記念部門」が開催中！ 第77回ヴェネチア国際映画祭 クラシック部門で「復讐するは我にあり」が出品上映決定 松竹映画100周年が海外映画祭で話題沸騰中!!

松竹株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長：迫本 淳一 以下「松竹」）は、本年、映画製作・供給（配給）事業を開始して100年を迎えます。これを記念して、「松竹映画 100 周年」の取り組みを行っております。

その取り組みの一つの柱として、海外の映画祭への出品を積極的に行っており、この度、現在開催中の**第23回上海国際映画祭で松竹映画100周年を記念した特集上映「松竹映画100周年記念部門」が行われております。また、第77回ヴェネチア国際映画祭クラシック部門で、今村昌平監督『復讐するは我にあり』が正式出品されることが決定いたしました！**

上海国際映画祭では、「松竹映画100周年記念部門」として、『砂の器』や『切腹』など全5作品を上映。さらに、北野武監督特集上映企画でも『その男、凶暴につき』『ソナチネ』の2作品も出品されています。ヴェネチア国際映画祭クラシック部門では、今村昌平監督作『復讐するは我にあり』のデジタルリマスター版が選ばれました。新型コロナウイルスの影響により、ヴェネチア国際映画祭の一週間前に開催されるクラシック部門・ポローニャ復元映画祭(8/25-8/31)にて行われる予定です。本作は、松竹が100周年記念として実施している企画「100年の100選」でボン・ジュノ監督が好きな1作として挙げ、絶賛のコメントも寄せていただいています。

<映画祭情報>

【上海国際映画祭】※開催中

日程：7月25日(土)～8月2日(日)

上映作品：

【松竹映画100周年記念部門

(正式名：特別策划-松竹映画100周年 SIFF SPECIALS-SHOCHIKU CINEMA 100TH)] 枠

『醜聞』『砂の器』『一人息子』『楢山節考』『切腹』

【北野武監督特集上映(正式名：向大师致敬-北野武 TRIBUTE TO MASTERS- TAKESHI KITANO)] 枠

『その男、凶暴につき』『ソナチネ』

映画祭公式： <http://www.siff.com/a/2020-07-20/3896.html> (松竹映画100周年記念詳細)

【第77回ヴェネチア国際映画祭 クラシック部門 @ポローニャ復元映画祭】

日程：8月25日(火)～8月31日(月)

上映作品：デジタルリマスター版『復讐するは我にあり』



第二十三届上海国际电影节
23RD SHANGHAI INTERNATIONAL FILM FESTIVAL



ボン・ジュノ監督のコメントはこちら

『復讐するは我にあり』（今村昌平監督／1979年）

「（前半略）父親の原罪、日本の歴史的曲折、歪んだ欲情らが一つに絡み合い、巨大なスケールの叙事と化す。社会や制度では制御不能な怪物の身悶えを、目の前で目撃しているかのように迫り来る恐怖。実在する連続殺人魔の一代記という次元を超えた、まさに他に類を見ない、圧倒的な迫力の映画である。」

コメント全文はこちら→ <https://movies.shochiku.co.jp/100th/celebrity/bong-joon-ho/>

この機会にご紹介賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

【「松竹映画100年の100選」公式サイト】 <https://movies.shochiku.co.jp/100th/>

【公式Twitter】 <https://twitter.com/CINEMACLASSICSS> 【公式facebook】 <https://www.facebook.com/CinemaClassicsOfficial>

【「松竹映画100年の100選」の宣伝に関するお問い合わせ】

松竹株式会社 メディア事業部 宣伝販促室 TEL:03-5550-1610